

令和6年7月23日

令和6年度における日本遺産の総括評価・継続審査の結果及び 候補地域の日本遺産への認定審査結果を発表します

「日本遺産審査・評価委員会」における審議を経て、平成27年度及び平成30年度に認定された日本遺産の総括評価・継続審査及び、令和3年度に認定された候補地域の日本遺産への認定審査結果についての結果を発表します。

1. 平成27年度及び平成30年度に認定された日本遺産の総括評価・継続審査について

○ 平成27年度及び平成30年度に認定された日本遺産※（計30件）について、「日本遺産審査・評価委員会」における総括評価・継続審査を経て、18件を「認定継続」とし、他の地域のモデルとなる地域として2件を「重点支援地域」に選定するとともに、重点支援地域の中でも卓越して優れた実績・計画を有する地域として1件を「特別重点支援地域」（日本遺産プレミアム）として選定しました。

○ また、「再審査」となる地域として5件を選定するとともに、令和3年度の総括評価・継続審査において「条件付き認定」となった4件は令和3年度認定候補地域との「点数評価プロセス」に進むこととなりましたので、年内を目途に審査結果を発表します。

※ 認定番号4「灯（あか）り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～」については、令和6年能登半島地震の影響に鑑み審査を延期しております。

2. 令和3年度「候補地域」の認定審査結果について

○ 令和3年度に認定された候補地域（計3件）について、「日本遺産審査・評価委員会」における審議を経て、1件が点数評価プロセスへ進むこととなりました。

詳しくは、以下の各資料を参照願います。

別紙1-1 平成27年度認定日本遺産総括評価・継続審査結果一覧

別紙1-2 平成27年度認定日本遺産総括評価・継続審査結果

別紙2 「特別重点支援地域（日本遺産プレミアム）」の
創設について

別紙3-1 平成30年度認定日本遺産総括評価・継続審査結果一覧

別紙3-2 平成30年度認定日本遺産総括評価・継続審査結果

別紙4-1 令和3年度候補地域認定審査結果一覧

別紙4-2 令和3年度候補地域認定審査結果

<担当>

文化庁参事官（文化拠点担当）

参事官 磯野

参事官補佐 三木

係長 丸川

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-4909（直通）

平成27年度認定地域認定日本遺産総括評価・継続審査結果一覧

別紙1-1

分類	認定番号	都道府県名	申請者(◎印は代表自治体)	ストーリー名(※1)
支 特 援 地 域 重 点	5	福井県	◎福井県(小浜市・若狭町)	海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 ～御食国若狭と鯖街道～
認 定 地 域	2	群馬県	◎群馬県(桐生市・甘楽町・中之条町・片品村)	かかあ天下 ーぐんまの絹物語ー
	3	富山県	高岡市	加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡 ー人、技、心ー
	8	滋賀県	◎滋賀県(大津市・彦根市・近江八幡市・高島市・東近江市・米原市・長浜市・草津市・守山市・野洲市)	琵琶湖とその水辺景観 ー祈りと暮らしの水遺産
	9	京都府	◎京都府(宇治市・城陽市・八幡市・京田辺市・木津川市・久御山町・井手町・宇治田原町・笠置町・和束町・精華町・南山城村)	日本茶800年の歴史散歩
	10	兵庫県	丹波篠山市	丹波篠山 デカンショ節 ー民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶
	14	広島県	広島県尾道市	尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市
	15	徳島県、愛媛県、高知県、香川県	徳島県(徳島市・鳴門市・小松島市・阿南市・吉野川市・阿波市・三好市・勝浦町・神山町・牟岐町・美波町・海陽町・板野町・上板町)、◎高知県(高知市・室戸市・安芸市・南国市・土佐市・須崎市・宿毛市・土佐清水市・四万十市・香南市・香美市・東洋町・奈半利町・田野町・安田町・芸西村・中土佐町・四万十町・大月町・三原村・黒潮町)、愛媛県(松山市・今治市・宇和島市・八幡浜市・新居浜市・西条市・大洲市・四国中央市・西予市・久万高原町・砥部町・内子町・愛南町)、香川県(高松市・丸亀市・坂出市・善通寺市・観音寺市・さぬき市・東かがわ市・三豊市・宇多津町・多度津町)	「四国遍路」 ～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～
	17	長崎県	◎長崎県(対馬市・壱岐市・五島市・新上五島町)	国境の島 壱岐・対馬・五島 ～古代からの架け橋～
再 審 査	1	茨城県、栃木県、岡山県、大分県	茨城県(◎水戸市)、栃木県(足利市)、岡山県(備前市)、大分県(日田市)	近世日本の教育遺産群 ー学ぶ心・礼節の本源ー
	7	三重県	明和町	祈る皇女斎王のみやこ 斎宮
	11	奈良県	◎明日香村・橿原市・高取町	日本国創成のとき ～飛鳥を翔(かけ)た女性たち～
	18	熊本県	◎人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村	相良700年が生んだ保守と進取の文化 ～日本でもっとも豊かな隠れ里-人吉球磨～
点 数 評 価 プ ロ セ ス (※ 2)	6	岐阜県	岐阜市	「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜
	12	鳥取県	三朝町	六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～
	13	島根県	津和野町	津和野今昔 ～百景図を歩く～
	16	福岡県、佐賀県	◎福岡県(筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川市・宇美町)、佐賀県(基山町)	古代日本の「西の都」 ～東アジアとの交流拠点～

※1 認定番号#4「灯(あか)り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～」については、令和6年能登半島地震の影響に鑑み、審査を延期。

※2 点数評価プロセスを実施する地域は、令和3年度総括評価・継続審査において条件付き認定地域となった地域であり、令和3年度候補地域との間で点数による評価を行う。

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込み数」について、目標を達成している。 ■ 「外国人観光客数」、「経済効果」、及び「宿泊者数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「養蚕新規参入者」及び「民間団体との協働日数」について、目標を達成している。 ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」及び「日本遺産の認知度」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「寄付金額」及び「地域プレーヤー数」について、概ね目標を達成している。 ■ 「絹製品需要拡大」について、目標を達成していない。
(4) その他	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「子供向け普及啓発活動」について、概ね目標を達成している。
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産に関連する寄附金を一定程度確保しており、地域の協力団体、民間企業との連携を進めているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価		不可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産の認知度や地域コンセプトの浸透度が一定程度あるものの、各自治体の長期計画における日本遺産の位置づけを明確にするなど、戦略立案のさらなる強化が望まれる。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プレーヤー数が一定程度あるほか、地域プロデューサーの確保、出前講座や体験イベント等をはじめとした人材育成のための取組に加え、民間主導の「絹ラボ」の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産の観光案内機能を持つ公開施設の整備、案内板の修理や、ストーリー関連人物である永井いと像の展示など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅「甘楽」での座繰り・繭クラフト体験、桑の実収穫体験、低速電動コミュニティバスによる周遊促進を実施するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生を対象とした出前授業の実施や、民間事業者と連携した普及啓発イベントの開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> SNSや企画展等の多様なチャネルを活用した情報発信を行っており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゲートウェイ施設によるストーリーの紹介やストーリーが体験できる事業を行う計画である点が評価できる。 ■ ビジョンとして描かれている「シルクカントリー」の再生創造や女性活躍の先進地づくりの実現に向けて、取組方策のさらなる具体化が望まれる。 ■ 観光の観点から、温泉などの地域資源との相乗効果を図る工夫が望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自走、好循環を意識している点が評価できる。 ■ 依然行政が核となった事業展開で、活用側の事業者を中心に据えた組織体制の展望について具体的な検討を図ることが望ましい。 ■ 民間の視点を取り入れ、全体の戦略を描き、マネジメントしていくための実務組織体の構築が望まれる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「シルクカントリー」を謳う以上、規模はともかくシルク生産への拘りと、その中での新しい「女性活躍」の場づくりについて検討することが望ましい。 ■ 明治時代における絹と外貨の関係性、女性が活躍した背景、実際に作った絹の製品など、さらに幅広く深く説明することが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」、「外国人観光客数」、及び「宿泊者数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産のためのふるさと納税額」について、目標を達成している。
(4) その他	可	■ 「日本遺産への協力団体数」について、目標を達成している。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> DMO、観光協会や商工会議所等の民間団体との連携、ふるさと納税による財源確保を進めるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 高岡市観光振興ビジョンをはじめとする行政計画への日本遺産の位置づけ、マーケティング調査に基づく事業の検討や検証を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プロデューサー数や有償ガイド登録者数が一定程度あるほか、地域プロデューサー人材の確保・育成、日本遺産ガイド養成講座の開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 構成文化財の整備事業、観光案内板の設置・修繕や多言語パンフレット作成を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 子供向けの高岡城跡探検ツアーの実施、インバウンド強化のための商談会への参加や日本遺産を体験できるツアー造成への支援を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 小学生向け高岡再発見プログラム事業、高校・大学と連携した日本遺産に関連する授業や、食を活用した普及啓発活動を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> SNSやアニメ制作、イベントPRブースへの出展等、多様なチャネルを活用した情報発信を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町民文化に根づく、歴史・文化・ものづくりに基づく地域づくりを進める点が評価できる。 ■ 具体的な事業については、現状と課題を分析したうえで立案できているものの、地域の目指す将来像（ビジョン）のさらなる明確化が望まれる。 ■ 日本遺産ブランドを観光戦略にどう活かしていくかについて、具体的に検討することが望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育機関と連携して将来の中核人材を養成する方向性について評価できる。 ■ DMOや民間事業者、大学等の関係する団体を広く巻き込んだ体制であり、自立・自走を意識した計画となっている点が評価できる。 ■ 多様な団体等を巻き込んでいる中で、全体的な方向性のかじ取りや共有が望まれる。 ■ 「ものづくり」の町としての基盤整備や人づくりについて具体的に検討することが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文化遺産が豊かな行政団体のまちづくり計画として一定のレベルに達している点が評価できる。 ■ 県内の他の日本遺産との相乗効果を創出し、官民連携による地域活性化を一層推進することが望ましい。 ■ 「ものづくり」の町として、ビジョンにある「市民の力、心意気」を再生するようなストーリー構築と事業化に注力することが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成している。 ■ 「歴史・産業観光入込」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」及び「出前講座の回数」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産への協力団体数」について、目標を達成している。
(4) その他	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「サイト・SNSのリーチ数」について、目標を達成している。
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産サポーター数が増えているほか、民間主導での組織運営・事業実行や、クラウドファンディングによる財源を確保するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保存活用地域計画や観光まちづくり戦略等の行政計画への位置づけが行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プレーヤーとの連携強化、インバウンドツアー対応人材の育成や構成文化財の文化的価値を発信できる人材の育成を進めるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 熊川宿・小浜西組エリアの景観・基盤整備、一棟貸しの分散型古民家ホテルの棟数拡大、説明板・案内看板の拡充や交通アクセスの整備を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客が増えているほか、ストーリーを体感できるサイクリングツアーの実施や、日本遺産関連商品の開発と販売拡大を進めるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 民間主導の普及啓発イベントの開催、小学生による鯖街道踏破体験の実施や、構成文化財「若狭塗」を題材とした小学生・高校生との協働事業の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会のホームページやSNSを活用した情報発信のほか、英語情報発信サイトの整備や民間からの情報発信の仕組化を推進するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歴史文化基本構想・文化財保存活用地域計画を核にした計画的な日本遺産事業と地域づくりビジョンが明確である点が評価できる。 ■ 御食国若狭と鯖街道のコンセプトのもと、分野横断的に地域総がかりで取組できており、観光の拠点化や商品開発など、多くの成果をあげている点が評価できる。 ■ ビジョンが明確に描かれており、これを実現するための広範な取組が計画されている点が評価できる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ DMOを核とした古民家再生プロジェクトの成果を引き継ぎ、「宿泊以外の滞在コンテンツの整備」、御食国としての「食（食文化）」の事業化、新たな道の駅の開業と日本遺産創出製品の販売など、体系的な事業計画ができている点が評価できる。 ■ 適切な組織体制であり、役割も明確である点が評価できる。 ■ 体制づくりの根幹はシビックプライドの醸成と明確に位置づけられ、人材育成に重点をおいて取り組む点が評価できる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 明快な日本遺産のストーリー、および日本遺産認定までに地元が築いてきた事業実績が活かされた具体性がある計画になっている点が評価できる。 ■ 一過性のイベント等に依存するのではなく、文化資源を活かした地域経済の再生という意味で、日本遺産のモデルともいべき事業計画になっている。 ■ 古民家ホテルの継続や若狭塗りの販売などをはじめ、構成文化財の保存と活用の好循環の創出に向けた取組が進められ、日本遺産を活かした地域の活性化のモデルともなりうる。
<p>評価結果</p>	<p>特別重点支援地域に認定</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込客数」、「外国人観光客数」、及び「宿泊者数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域協議会の構成員数が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価		不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実績報告書に記載されている数値と評価指標との関係が不明であり、日本遺産事業を活かす「戦略立案」についての取組を具体的に示すことが望まれる。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ガイド養成講座や現地研修会の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 案内看板の設置・更新や多言語対応を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構成文化財におけるライトアップによる夜間観光の促進、日本遺産を巡る着地型バスツアーの実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小学生向け出前授業の実施や、大学の地域学の授業等における日本遺産の普及啓発を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ウェブサイトのページビュー数やSNSのフォロワー数が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域資源の特色を活かしたビジョンが明確であり、課題や取組の方向性についてしっかりと分析されており、事業を行う上で必要な取組が記載されている点が評価できる。 ■ 周知度の高い琵琶湖を活かした一体的な地域活性化の具体策を示すことが望ましい。 ■ 滋賀の水の恵みをテーマとしたストーリーが県民の日々の暮らし文化の中でどのように活かされているのか、またそのことを県民がどのように認識しているのか、といった原点にもどり、これらを再生する中で新たな地域創造につなげるような視点を持つことが望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行政主体の体制となっており、民間事業者との連携強化が望まれる。 ■ シリアル型のメリットを活かせるような体制整備が望まれる。 ■ 事業の収益化など自立自走に向けた具体的な取組を示すことが望まれる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジョンは明確であり課題分析も適切である点が評価できる。 ■ シガリズム（滋賀らしいツーリズム）を暮らし・祈り・食としてどのように表現し、体験・体感できるようなプログラムにできるか、またこれらの事業を担う事業者をどのように発掘し支援するかなどの方策を具体的に示すことが望ましい。 ■ 広域におよぶ琵琶湖の歴史・文化ストーリーを基軸においた一体的な活用策を打ち立てることが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」、「外国人観光客数」、及び「経済効果」について、目標を達成していない
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、概ね目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 法人パートナー数と協議会の収益額が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> DMOにおける観光地域戦略の改訂やマーケティング調査を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プロデューサーや地域プレーヤーが一定程度存在しており、英語対応できる日本遺産ガイドの育成や通訳案内士の組織化を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	不可	<ul style="list-style-type: none"> サブストーリーの抽出等の取組は行っているものの、「観光客の滞在時間の増加」という指標について実績を測定していない。また、整備に係る取組のさらなる強化が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 着地型旅行商品の造成・販売、宇治茶プレミアムブランド化を進めるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生向けキッズ茶ムリエ検定事業や宇治茶ムリエ認定者マスター講座、府民等向け体験プログラム「オンライン宇治茶ムリエ講座」を開催するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトのページビュー数が一定程度あり、多様なチャネルを活用した情報発信を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ お茶の京都DMOを中核に、宇治茶の生産環境の整備と観光振興を狙うバランスの取れた構想(ビジョン)が描かれている点が評価できる。 ■ 宇治茶ムリエの育成や観光ループバス事業や着地型旅行商品の開発など、各種の工夫がなされている点が評価できる。 ■ 移動が難しい地域で観光の足を確保する観光ループバス事業を行っている点が評価できる。 ■ 構成文化財の継承に係る事業の検討が望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ お茶の京都DMOを中核に、マーケティング、人材育成や観光事業などが推進される体制となっている点が評価できる。 ■ 自立自走に向けた工夫の具体的な検討が望まれる。 ■ 観光事業者と茶業関係者との連携が確立されているが、今後は地域づくり部門や文化財部門との連携強化が望まれる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域のビジョンに基づいた普及啓発・観光事業・宇治茶のブランド事業などの位置づけを示すことが望ましい。 ■ 地域の強みと弱みを踏まえた取組の具体化が望ましい。 ■ 体験や滞在コンテンツのさらなる充実に注力することが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込み数」及び「観光消費額」について、目標を達成している。 ■ 「外国人観光客数」及び「宿泊者数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産のためのふるさと納税額」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと応援団員数やふるさと納税額が一定程度あるほか、「Masse丹波篠山」をはじめとする民間主体の取組環境を整備するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 観光まちづくり戦略に基づく進捗管理、行政計画への日本遺産の位置づけや、大学と連携した観光動線調査の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プロデューサーや地域プレイヤーが一定程度存在するほか、小学生・高校生のガイド人材の育成や篠山イノベーターズスクール事業を通じた地域活動の担い手の育成を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 公式観光サイトにおける構成文化財の英語解説文の掲載、デカンショ節の歴史等を伝える丹波篠山デカンショ館の運営、宿泊施設の整備促進を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 里山暮らしツアー、丹波篠山周遊バスツアーや外国人向けファミトリップの実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 市長による学校日本遺産出前講座、丹波篠山デカンショ祭の継続開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 公式観光サイトやSNSを活用した情報発信、丹波篠山市民サポーターによる情報発信、旅行ガイドブックの制作・販売など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の産品、伝統的集落・里山景観を連携した具体的でかつ持続可能な事業計画が多数盛り込まれている点が評価できる。 ■ デカンショ節を生みだした豊かな自然、農村風景、城下町の町並みなどを観光資源とするという方向性は素晴らしいが、それらを一体的に享受するためのモデルコースなどの深掘りを図ることが望ましい。 ■ 具体的な取組の記載がされているものの、現状と課題の分析結果を踏まえた地域の目指す将来像をより具体的に示すことが望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヒトづくり（丹波篠山人）をはじめ、町並みと農村景観、歴史文化・芸術、田園風景、農の都、食の聖地づくりなどの事業計画が体系的に描かれている点が評価できる。 ■ 日本遺産を活かした観光に向けた官民一体の体制になっており、自立自走でも収益確保のためカフェやプロデューサーの設置等、多くの方策がとられている点が評価できる。 ■ これまで以上に組織整備が充実する予定となっている点が評価できる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジョンも含め全体的によく活動できているが、事業の重点化など、メリハリのある事業展開を図ることが望ましい。 ■ 国選定の伝統的建造物群である町並みの保存整備が核となり、安定した事業が進んでいる点が評価できる。 ■ 取組や体制は全体的にバランスが良く評価できるが、今後、より発展的な取組を行うことが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。 ■ 「観光消費額」について、概ね目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産のためのふるさと納税額」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> DMOとの連携やふるさと納税の推進など、組織整備の取組が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市における各種計画に位置付けられているほか、ホームページやアプリのアクセス分析等が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 文化遺産パートナー養成事業や教育機関と連携した人材育成事業がなされているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 新たなビジターセンターの設置・運営や、まちなか文化交流施設の整備など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> ロープウェイ乗降者数やレンタサイクルの貸出実績が増加基調にあるほか、サイクリングツアーやクルーズツアーなどの観光事業化の取組が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産の認知度が高い水準にあるほか、小中学校や大学での授業を通じた普及啓発の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、SNSや日本遺産アプリなどの多様なチャネルを活用した情報発信が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ これまでの取組の成果や課題を踏まえ、地域が目指すべき将来像として、日本遺産ストーリーでのパッケージ化に取り組むことが望まれる。 ■ また、日本遺産認定地域であることの普及や日本遺産ストーリーを伝えるための環境整備、情報発信の拠点等の整備が望まれる。 ■ 尾道ならではのポイントを地域ビジョンに掲げることが望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治体主導のもとで民間事業者の巻き込みは不十分であるが、参画団体間の役割分担が明確にされており、実施を実施するにあたっての体制が一定程度整備されている。 ■ 人材育成や組織経営基盤の構築など、自走自立に向けた取組をさらに強化することが望まれる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として及第点にあるが、「箱庭的都市」の魅力を活かす方向性の更なる具体化を図ることが望まれる。 ■ 事業の実施に対して問題がない組織体制をある程度整えているが、日本遺産事業ならではの価値を明確にすることが望まれる。 ■ 民間事業者も巻き込んだ、より自立自走を意識した戦略の策定・実施が望まれる。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」、「外国人観光客」及び「宿泊者数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、概ね目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	■ 「日本遺産への協力団体数」について、目標を達成していない。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	不可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産関連の協力団体や、協賛・寄付団体が一定数あるものの、ふるさと納税やクラウドファンディングなどの日本遺産整備に資する資金の獲得が進んでおらず、外部資金の獲得に向けた取組の強化が望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 構成自治体の行政計画において日本遺産が位置付けられているほか、各種調査結果を踏まえて既存事業の見直しや新規事業の立案を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ガイド人材の育成を行うとともに、次世代の担い手を含む担い手の掘り起こしを図るなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 四国遍路に係る遍路道、札所、ヘンロ小屋や案内・解説板等の整備を進めるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> モデルコースの造成に加え、ガストロノミーやトレイルのような新たな要素を加えたツアーの商品化、外国人遍路向けツアーの提供など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 民間主導による普及啓発イベントの開催、住民向け講座の開催、学校における郷土学習の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 協議会ホームページやSNSを活用した情報発信、ガイドブックやパンフレットの作成・配布、公認アンバサダー制度の検討など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ これまで4県の連携で活動を継続させている点は評価できるが、ビジョンのさらなる具体化が望まれる。 ■ ストーリーに関する施設整備や受入体制の整備等、これまでの取組の課題を踏まえた計画を立案できている点が評価できる。 ■ 「四国遍路」の歴史と文化を「お遍路さん」や地域住民に深化させることが望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4県連携推進費、ふるさと納税やクラウドファンディングなどを活用する計画となっているものの、今後の事業に必要な予算を確保する工夫を強化することが望ましい。 ■ アドバイザーの設置や大学等と連携した体制を構築するなど、協議会を構成する四県の一体的な推進が可能な体制となっている点が評価できるものの、相乗的・効率的な運営を実現するための具体策を検討することが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関係者の意欲が感じられる計画となっている点が評価できるが、心の旅のストーリーの掘り下げや取組の一層の工夫を図ることが望ましい。 ■ 相当数の構成団体で構成されているため、地元の整備計画、世界遺産推薦準備作業との差別化を図ることが望ましい。 ■ 解説案内板の内容の充実と設置にもっと注力することが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成していない。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 個人サポーター・法人サポーターの数は一定程度あり、ワーキング会議を通じて民間事業者や関係団体等と連携するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産認知度や地域コンセプトの浸透度が上昇しているほか、日本遺産構成文化財の活用戦略を策定するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プロデューサー設置・育成事業、ガイド養成事業、地域ナビゲーター育成事業を進めるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産コーナーの設置、構成文化財における案内板の設置、多言語解説パンフレットの制作や多言語音声ガイド整備など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 旅行商品の造成、トレッキングコース設定、土産品開発やパンフレット機能を持ったパスポートの販売など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生を対象とした日本遺産学習事業の実施、市民講座の開催、巡回遺跡展やパネル展の開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 協議会ホームページやSNSを活用した情報発信、メディア合同招聘事業など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「国境の島」のストーリーを朝鮮通信使やスポーツ、アート、環境など、現在の交流事業として具体化しようとしている点が評価できる。 ■ 国境の島での交流と絆をテーマに、4つの取組について現状と成果と課題を整理し、多彩な事業を計画している点が評価できる。 ■ ビジョンが明確であり、取組に関する分析がなされているものの、集客目標の設定に関する再検討が望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治体や民間団体など、推進協議会での役割分担は明確であるものの、島嶼部の連携について強化することが望ましい。 ■ 自立自走について財源確保を含めて具体的な検討が進められているものの、各取組に関して、全体の方向性を調整して取組のマネジメントを実施することが望まれる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国境の島としての特性を生かした国際交流に重点をおいた事業計画が期待できる。 ■ 離れた島嶼部でのシリアル型といういささか難しいケースだが、将来像や組織的対応がよく検討されている点が評価できる。 ■ 取組及び組織整備の両面においてまとまりがあり、事業の確実な実施が期待できる。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

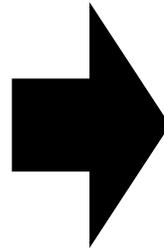
「特別重点支援地域（日本遺産プレミアム）」の創設について

背景・必要性

- 平成27年度の制度開始以来、全国104件の日本遺産が認定されている。「地域の有形・無形の優れた文化財をストーリーとしてまとめ、観光振興や地域活性化に活用する」という制度の趣旨の実現を図り、各地の日本遺産の取組みをさらに活性化させるためには、**日本遺産が目指すべきモデルを明確化することが効果的**と考えられる。
- この観点から、これまで、総括評価・継続審査のプロセスを通じて優れた取組実績・計画内容と認められた日本遺産ストーリーを、「重点支援地域」とする仕組みを運用してきたところ。今次、総括評価・継続審査のプロセスが2周目を迎えることとなることも踏まえ、「重点支援地域」の中でも卓越して優れた実績・計画と認められる日本遺産ストーリーについては、**さらに上位の評価・顕彰を与えるとともに、今後の日本遺産の普及啓発・情報発信において積極的に活用するなどの取扱いを講じてはどうか。**

（判定の基準）

- 1周目6年間、2周目3年間の全てを通じて日本遺産としての高い水準を維持することは容易ではなく、継続的・積極的な取組が長期間にわたり行われたことは高く評価すべきもの。
- 既に重点支援地域として認められている地域が、その状態で総括評価・継続審査を受け、**続けて重点支援地域とすべきものと判定された場合は、当該地域を「特別重点支援地域」とする。**



（特別重点支援地域の取扱い）

- 文化庁が行う日本遺産の普及啓発・情報発信の中で、積極的に事例として取り上げるなど、**日本遺産の「モデル」として様々な場面で活用**する。
- 日本遺産に関する文化庁の予算事業での補助率のかさ上げや、審査時の加点要素とするなど、**優遇措置**を講ずる。
- 活動実績及び地域活性化計画の提出などの対応は継続して取り組んでいただくが、取組みにすでに一定の信頼が見られることを踏まえ、**提出資料の簡素化等を検討**する。

「特別重点支援地域」をインセンティブとしつつ、優れた取組みの横展開を促し、**日本遺産のさらなる活性化を図る。**

（参考）現時点での重点支援地域の一覧

#020鶴岡・出羽三山、#027小松・石の文化、#034出雲・たたら風土記、#042伊賀甲賀・忍者、#051高知・ゆずロード、
#059宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波、#066鬼が仏になった里「くにさき」

平成30年度認定地域認定日本遺産総括評価・継続審査結果一覧

別紙3-1

分類	認定番号	都道府県名	申請者(◎印は代表自治体)	ストーリー名
重点支援地域	59	富山県	南砺市	宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波
	66	大分県	大分県(◎豊後高田市、国東市)	鬼が仏になった里「くにさき」
認定地域	56	山形県	山形県(山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、大石田町、白鷹町)	山寺が支えた紅花文化
	57	栃木県	宇都宮市	地下迷宮の秘密を探る旅 ～大谷石文化が息づくまち宇都宮～
	58	栃木県	◎那須塩原市、矢板市、大田原市、那須町	明治貴族が描いた未来 ～那須野が原開拓浪漫譚～
	60	山梨県	◎山梨県(山梨市、笛吹市、甲州市)	葡萄畑が織りなす風景ー山梨県峡東地域ー
	61	長野県、山梨県	◎長野県(茅野市、富士見町、原村、諏訪市、岡谷市、下諏訪町、長和町、川上村)、山梨県(甲府市、北杜市、韮崎市、南アルプス市、笛吹市、甲州市)	星降る中部高地の縄文世界ー数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅ー
	62	静岡県、神奈川県	◎静岡県三島市、函南町、神奈川県小田原市、箱根町	旅人たちの足跡残る悠久の石畳道ー箱根八里で辿る遥かな江戸の旅路ー
	63	和歌山県	広川町	「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～
	64	岡山県	◎岡山市、倉敷市、総社市、赤磐市	「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～
	65	広島県	福山市	瀬戸の夕凧が包む国内随一の近世港町 ～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～
67	宮崎県	◎西都市、宮崎市、新富町、高鍋町	古代人のモニュメントー台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観ー	
再審査	55	北海道	◎上川町、旭川市、富良野市、愛別町、上士幌町、上富良野町、鹿追町、士幌町、新得町、当麻町、東川町、比布町	カムイと共に生きる上川アイヌ～大雪山のふところに伝承される神々の世界～

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「外国人入込客数」について、目標を達成している。 ■ 「観光入込客数」、「経済効果」及び「山寺における観光入込客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、測定ができていない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産の協力団体数」及び「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として目標を達成していない。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産への協力者数や協議会自主事業による収入が一定程度存在し、かつ協議会の定期的な会議開催が実施される等、日本遺産の取組を推進するための組織の土台が整備されている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産に誇りや愛着を感じる人の割合や日本遺産の認知度一定数あり、かつ自治体の長期計画への位置づけやマーケティング調査を実施する等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プロデューサーや日本遺産への協力者、研修会等の開催が一定数存在する等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の満足度や平均宿泊者数が増加傾向にあり、かつ多言語による構成文化財の案内板・解説板や拠点施設の整備等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 山寺の観光客数や県内の消費単価が一定程度あり、かつ日本遺産関連の旅行商品造成やパンフレットおよびポスターの作成等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 県内外の日本遺産の認知度や民間主導のイベントの回数が一定程度あり、かつ構成文化財等における企画展や教育機関と連携した体験事業を実施する等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 協議会ホームページのPV数やSNSのフォロワー数が一定数あり、かつ日本遺産に関するウェブサイトやプロモーション動画の制作、SNSでの情報発信の実施等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光振興、普及開発、基盤強化の三つにわけて、地域活性化に向けた過去の成果と課題が明瞭に分析され、それらに基づいた基本的取組が具体的に提示されている点は評価できる。 ■ 「体験型山寺と紅花ミュージアムの実現」という共通テーマを実事業として具現化するために、実現性のある事業計画設定と重点的に取り組む施策を決定することが望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 紅花交易により発展した蔵文化の展開、県外の日本遺産との連携商品づくりなど、文化資源の新たな活用方策なども示されている点は評価できる。 ■ 協議会内の各人（組織）の位置づけが不明確なため、事業実施を効果的に進められる体制の構築を行うことに加え、財源・人員を確保することが望ましい。 ■ 県が全体を管理するだけでなく、関係市町の自発的・積極的な活動に繋げることが重要であり、山寺だけでなく各市町の取組みを総合的に活かし連携させる取組とすることが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現状把握と課題が分析され、意欲ある取組が計画されていることは評価できる。 ■ 実行性を高めるための重点的取組の決定や財源確保を行うと共に、各取組の実践・成果を他事業に広める等、総合的な取組にするための工夫を行うことが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産協力団体数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成していない。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産を活用した取組は多く行われているものの、それぞれの団体、組織、企業によって個別に実施されており、組織間の調整や全体の取りまとめを実施する機能の強化が望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナの影響により市民講座などの取組が十分実施できず、指標である「日本遺産の認知度」は、48.6%に留まったものの、日本遺産を活用した地域活性化の戦略の一環として、各商業施設への来訪者数の集計を通じた経済波及効果の測定といった取組は実施できている。 ■ グリーンスローモビリティなどを活用した消費額増加の成果も見られており、収益を上げる取組として一定程度の成果は上げられている。
(3) 人材育成	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ガイド登録数および稼働数ともに増加傾向であり、ガイド育成は進んでいるが、ガイド以外の人材育成の取組の強化が望まれる。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商業施設や駅への日本遺産PR用のポスター掲示、および駅周辺や中心市街地、大谷地域への構成文化財マップ・解説板の設置などの取組が実施されている。 ■ 情報発信の拠点として「大谷コネクト」が開業され、イベントなどに活用されている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ワンデイパスポートや一日乗車券など、モビリティを活用した周遊促進の取組が行われており、また構成文化財における展示会の実施など、日本遺産を活用した事業化も進んでいる。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小中学校授業での「宇都宮学」の実施や、宇都宮大学での講義など、教育・学習の機会を通じた普及啓発活動ができており、市民講座においても、受講者から高い評価を得られている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構成文化財のみでなく、カフェやイベント情報など、大谷地域全体の情報発信の取組が行われており、また第3次観光振興プランにおける基本戦略のターゲットとして、「首都圏在住者」および「若年層」を重要項目として定め、プロモーション事業に取組んでいる。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域固有の資源を活用したこれまでの取組はよくできており、また地域活性化計画にて実施する取組内容も理解はできるが、現状分析と課題抽出を十分に実施したうえで、取組の柱やその効果検証方法を設定することが望ましい。 ■ 現行のビジョンは広く市民からの理解は得られると思うが、さらなる検討や具体化がなされることが望ましい。収益を上げ、地域への再投資によって持続可能な地域づくりにつなげる方法を熟考し、具体的な取組を検討することが望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歴史資源保存活用のための計画策定や周遊性向上のための整備事業、地元事業者や法人を巻き込んだ産業化計画など、しっかりとした計画になっている。 ■ 各取組を地域活性化につなげる上での責任部署を明確にし、自走・好循環への道筋をより具体的に描くことが望ましい。また責任部署は、取組の効果を定量・定性で評価し、効果が出ていない項目を管理することが望まれる。 ■ 日本遺産の取組の自立自走は、協議会が収入を得てその収入で運営するという意味ではなく、地域全体が潤うという意味での自立自走のこのため、グッズの収入などに限定せず、地域全体で経済が回るという意味での自立自走目標を掲げることが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産としてさらに活用できる取組を検討すべきで、大谷石が全国の様々なものに使用されるようになれば、全国からの集客につながり、そのような地域の実態を小中学生の授業に取り入れることでシビックプライドが醸成される。このように、より具体的に好循環につながる取組を描くことが望ましい。 ■ オーバーツーリズムの問題も増えてきているため、平日へのシフトや高付加価値化なども取組に入れ、トライアンドエラーを繰り返しながら事業を進めること、またインバウンド誘客に関する取組を具体的に描くことが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産への協力団体数や日本遺産に関連するふるさと納税が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産の認知度が一定程度あるほか、行政計画・構想への日本遺産の位置づけや、戦略立案に向けた潜在力調査の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域プロデューサーや地域プレーヤーが一定数存在し、人材育成に係る土台が整備されており、郷土愛とシビックプライドを育む人材育成や日本遺産ガイドリストの作成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ストーリーを体感するための拠点施設の整備や案内看板・誘導看板の設置など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光入込客数を一定程度確保したほか、構成文化財等を巡るツアーの実施、ストーリーの特徴を表したオリジナルグッズの作成や販売等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出前講座、講演会、小学校社会科教育副読本への掲載、企画展等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産のウェブサイトやメディアを活用した情報発信、パンフレット等の制作など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体としてバランスよく活動しており、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光地としてポテンシャルの高い那須塩原において、今後どのような地域を目指し、那須塩原らしさを伝えていくために構成文化財をどのように繋げていくのかについて更なる検討を行っていくことが望ましい。 ■ 地域ビジョンの実現に向けて、地域プレーヤーの人材育成や観光事業化など、取組内容と事業内容のさらなる具体化が望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ シリアル型としての自立自走に向けて、自治体間の連携強化や民間事業者の参画促進といった組織体制のさらなる整備が望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高原リゾートというブランド力を活かし、日本遺産ストーリーとの相乗効果の創出につながる具体的な取組がなされることが望ましい。 ■ エリアが広範囲に及ぶため、エリア間で連携し、民間事業者を巻き込んだ収益性向上のための戦略立案や自立自走に向けた財源確保に向けて、さらなる検討と取組が望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」、「外国人観光客数」及び「経済効果」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体数」及び「日本遺産のためのふるさと納税額」について、目標を達成している。 ■ 「日本遺産のための寄付額」について、目標を達成していない。
(4) その他	可	■ 「一般社団法人「井波日本遺産推進機構」（仮称）の設立による雇用創出」について、目標を達成している。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 民間主体で日本遺産事業を推進する新たな組織の立ち上げや協議会の自主財源を確保する取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 観光動向調査の実施や文化財保存活用地域計画をはじめとする自治体の長期計画への位置づけ等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プロデューサーや地域プレーヤーが一定数存在し、「ジソウラボ」等の民間主導による人材育成、世代間の交流促進や移住者と地域出身者の繋がり強化等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ストーリーを体感するための拠点施設の整備や案内看板・誘導看板の設置や構成文化財の改修等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 地域独自の観光資源を活用しながら日本遺産ストーリーの体験に繋がる高付加価値商品の開発・販売等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと学習を受講した児童の数や、民間主導のイベントの数が一定程度あり、学校での郷土学習の実施や地元住民に対する普及啓発を行う等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> SNSの投稿数やフォロワー数が一定程度あり、AIチャットボットを活用した訪問者への情報提供を行う等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として官民連携による幅広い取組が行われており、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の課題を分析し、井波の町を核とした南砺市全域における取り組むべき事業の方向性や具体的かつ意欲的な取組内容が示されている。文化財保存活用地域計画等にも位置づけられている点も評価できる。 ■ 井波別院 瑞泉寺と井波彫刻という歴史・伝統を日本遺産の取組を通じて、地域活性化に繋がられている。野外美術館やナイトミュージアムなどのアイディアや取組なども含め、多角的な取組を展開していることも評価できる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「ジソウラボ」、「イドウラボ」、「アキヤラボ」など民間事業者を中核とした事業計画が優れている。民間主導かつ若者層のワーキンググループ等が連携した協議会の運営も評価できる。外国人観光客の受け入れ強化も視野に、地域人材育成や多種多様な手段での広報のさらなる強化が今後期待される。 ■ 自立自走を意識した体制整備が行われており、将来性が見込まれる。情報発信や人材育成を精力的に進め、すそ野を広げつつ体制強化の姿勢が評価できる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 空き家を活用した高付加価値宿泊施設の開発等、日本遺産を契機とした地域活性化に意欲的に取り組んでおり、他地域のモデルとなりうる点が評価できる。 ■ 知名度・集客力が高い周辺地域との連携や、井波における夜の街の賑わい創出・滞在性の向上に向けた取組の強化が今後望まれる。
<p>評価結果</p>	<p>重点支援地域に認定</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込数」について、目標を達成できている。 ■ 「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「峡東地域のサポーター会員数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ (一社) ワイントゥリズムによる民間主導での日本遺産事業推進体制の構築など、組織整備に係る基礎的な取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治体の長期計画への位置づけやマーケティング分析の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域プロデューサーが協議会事務局に加入したほか、峡東ワインリゾートコンシェルジュ研修や峡東ワインリゾート魅力発見講座の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多言語による構成文化財の解説看板の整備、構成文化財等への道標の整備、ワインの樽を再利用したベンチの設置など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光客の入込数が一定数あるほか、構成文化財を会場とした高付加価値な観光コンテンツの造成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育現場における日本遺産に関する授業の実施、日本遺産の特別展示や民間事業者による普及啓発イベントの開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産ストーリーを伝える多言語ホームページの整備、SNSを活用した情報発信やマスコミの取材への協力など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の目指す将来像（ビジョン）のさらなる明確化が望まれる。 ■ これまでの事業分析や課題抽出を踏まえた日本遺産としての取組の具体化が望まれる。 ■ 外国人観光客の回復に向けた具体的な方策検討が望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間事業者による主導體制へ移行し、DMOの設立を計画しているが、自立自走に向けて財源確保に係る取組を強化することが望ましい。 ■ 構成自治体間のさらなる連携強化が望まれる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域DMO等の民間事業者の自走化に向けて、自治体等の支援や体制づくりの強化が望まれる。 ■ もうひとつの日本遺産「日本ワイン140年史」との棲み分けについて再整理することが望ましい。 ■ 自立自走を見据えた組織整備や観光事業化等の取組が示されているが、宿泊施設や交通インフラなど、観光客の滞在ニーズを踏まえた滞在環境のさらなる整備が望まれる。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力者数」について、概ね目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成していない。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 縄文応援隊の参加人数、協議会の参加団体の負担金が一定程度あることなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロゴマーク使用数や展覧会等のエリア独自のPR事業数といった評価指標と戦略立案の関係性が不明である。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ イベントや地域振興の実施者数、域内のガイド人数やガイド養成講座の開催数が一定数存在する等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 評価指標とそれに基づく具体的な指標の関係性が不明であり、また、説明板・案内看板の設置数や構成文化財の整備実施数等の目標と整備状況の関係性が不明瞭である。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光客入込数や旅行観光商品の開発数が一定程度あり、かつ民間事業者によって日本遺産関連のコンテンツ造成やエリア内の周遊イベントが開催される等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産の説明を受けた小中学生数が一定数存在し、日本遺産に関連した展示会の開催、幅広い年齢層に向けたイベントや講座の開催される等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多言語を含む日本遺産に関するホームページや動画の制作や、SNSを活用した情報発信など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産ストーリーを伝えるための解説整備などの取組が評価できる。 ■ 日本遺産を地域活性化にどう活用していくのかの具体的な戦略、取組を記載し、独自性かつ具体性のあるビジョンを描くことが望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来的な自立自走に向けた意識をもっていること、協議会の体制強化のために民間事業者との連携を進める予定であること、そしてワーキンググループを設置することでスピード感を高める工夫などは評価できる。 ■ 地域に適したターゲット設定を行うと共に、全体の方向性を主導する担当会議・事務局の機能を明確にして将来的な自立自走の道筋を作ることおよび、民間事業者の巻き込み等の体制整備を実施することが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産を通じた地域の活性化に向けて必要な取組が計画に記載されており、組織体制の整備についても一定程度評価できる。 ■ 顧客目線による事業計画の磨き上げおよび、日本遺産の活用によるシリアル型地域全体の地域活性化に向けた具体的な計画設計が必要。加えて日本遺産の取組がシビックプライドの醸成に寄与する道筋を検討することが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込み数」及び「路線バス利用者数」について、目標を達成している。 ■ 「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化財に誇りを感じる住民の割合」について、未調査の項目が多く、目標を達成しているとは言えない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産のための寄付額」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協議会への行政以外の参加団体数や構成文化財整備の寄付額が一定程度あることなど、日本遺産の取組を推進するための組織の土台が整備されている。協議会の定期的な会議の実施や、関係市町開催の委員会へ参加し情報共有を図るなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る基礎的な取組が行われている。
(2) 戦略立案	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産を活用してどのように地域活性化（経済効果）を実現しようとしているかの戦略が見えず、また、記載されている数値と戦略立案との関係性が不明確である。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産プロデューサーや地域プレイヤー数、ワークショップの開催数が一定数存在し、人材育成に係る土台が整備されている。また、ガイド養成講座やインバウンド対応研修の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る基礎的な取組が行われている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構成文化財に関する施設の来訪者数や関係市町の宿泊客数が一定数あり、ストーリーを体験する環境の土台が整備されている。また、構成文化財の解説看板・案内看板の設置、ガイダンス施設の整備など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る基礎的な取組が行われている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光客入込数や宿泊客数が一定程度あり、観光事業化に係る土台が整備されている。フォーリングプレスセンターと連携したファムトリップや観光庁事業を活用したモニターツアーを実施したことにより、宿泊を伴う団体旅行客の継続的な送客につながるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る基礎的な取組が行われている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産に関連した展示会や児童・生徒向けの体験講座の開催など、基礎的な取組はできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産のホームページのPV数やSNSのフォロワー数が一定程度あることなど、情報発信に係る土台が整備されている。海外メディアでの情報発信や、プロモーション素材を取りまとめたガイドブックの編集など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る基礎的な取組が行われている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施ができている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジョンが描かれており、取組内容も一定程度評価できる。 ■ 個々のスポットの来訪者は増加しているが、日本遺産としての「箱根八里」そのものの認知度は高くない課題をどのように克服していくのか、具体策につなげていくことが望ましい。 ■ 取組は課題を踏まえたものとなり効果が期待できるが、かなり端的な記載にとどまっており具体的でないため、実現に向けた具体策の検討が望ましい。 ■ インバウンドを強く意識したビジョンがたてられており、ガイド育成についてはインバウンドを含めたものであり期待できる。ただその他の取組をみると、インバウンド対応は必ずしも十分ではないように感じるため、インバウンド対応のさらなる強化が望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ これまでは2市2町の行政色が強すぎたきらいがあること反省にたつて、民間主体への転換やワーキンググループを設立すると計画されているため期待できる。 ■ 協議会下部組織など、充実した体制で取り組んでいることがわかる。また金融機関なども巻き込んだ自立自走への工夫が十分なされており、体制について評価できる。 ■ 民間主体に切り替える方向性が示されているが、その具体的な道筋は不透明であるため具体的な計画を検討することが望ましい。 ■ 共通テーマの街道としての一体的な事業ができるかがポイントとなるため、シリアル型である構成地域との事業連携を強化することが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 江戸の街道旅文化が体感できる希有な地域なので、いままで以上に各自治体と民間諸団体がうまく連携してストーリーを体現することが望ましい。 ■ 課題を踏まえて目的意識を持った取組がなされる計画となり、日本遺産としての充実が図られると思われる。一方、取組について具体的な記載が十分ではないため具体策の検討が望ましい。 ■ インバウンドを意識するビジョンは、本遺産のストーリーから導かれたものであり、評価できる。それを実現する組織体制・戦略を構築することが望ましい。 ■ 街道文化の更なる掘り起こしと磨き上げ、経済効果を意識したマネタイズ（安定的財源の確保）を目指すことが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込み数」について、目標を達成している。 ■ 「外国人観光客数」及び「満足度」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産のためのふるさと納税額」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人サポーター数や日本遺産を活用したまちづくりに関する事業を用途としたふるさと納税額が一定程度あることや、協議会や専門部会の定期的な会議の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ターゲット選定に係る嗜好性調査、地域コンセプトの浸透度の測定や、民間事業者との包括連携協定の締結など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域プロデューサーの確保、ガイド養成講座の実施や稲むらの火の館応援大使の任命など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ストーリーや構成文化財を説明する拠点施設の整備や多言語による構成文化財の解説看板・案内看板の設置など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物産販売・飲食施設の整備、民間事業者と連携した宿泊施設の整備や民間事業者による旅行商品の造成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ シンポジウムや文化展の実施、学校教育における地域学習の取組など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産のウェブサイトやパンフレット等の制作、SNSを活用した情報発信など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産を活用して実現したいビジョンをより具体的に記載することが望ましい。 ■ 震災後の復興後計画の中に、農業や漁業をはじめとした地域の産業との関わりを明確化するとともに、津波の歴史や津波との戦いなどを実感できるような、観光等メニューの充実によるさらなる地域経済効果の拡充が望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間事業者、構成文化財所有者や大学等との連携体制を一定程度構築できているが、各種事業の実効性を担保するために組織体制の更なる強化が望まれる。 ■ 個々の事業に関する予算が適切に計上されているが、自立自走に向けて財政基盤のさらなる充実を図ることが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防災教育などにおいて地域の資源を最大限に活かしているが、経済効果の創出に向けた取組のさらなる強化が望まれる。 ■ 百世の安堵というテーマは世界的な課題であることから、外国人訪問客への訴求を今後強化することが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	不可	■ 「日本遺産ガイドの活動者数」について、目標を達成していない。
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成していない。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 行政組織以外の参画団体数やふるさと納税額が一定程度あるほか、シリアル型の認定自治体間での密な連携がなされているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 認定自治体の各計画への位置づけられるほか、国内外のマーケティング調査や専門家の視察の結果等を基に方針・施策の検討がなされているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プロデューサー・地域プレーヤーが一定存在し、ガイド養成講座等による人材育成を推進するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> 各構成文化財における日本遺産に関する案内板設置やインバウンド向けの多言語対応が十分ではない。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 観光客入込客数や周遊企画への参加者数が一定存在するほか、地域の民間事業者等と連携した商品が販売されるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 地元住民を対象とした講座や日本遺産検定等のほか、小学生向けの学習まんが本の制作・配布や地域学習・校外学習の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> 協議会HPのアクセス数やSNSの投稿数が一定程度あり、SNS・パンフレット・日本遺産HPサイト・海外サイト等を通じた情報発信を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として基礎的な取組が行われており、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジョンが明確であり、地域課題を的確に捉えている。 ■ 具体的な事業内容は何で、どのように日本遺産のストーリー・構成文化財の価値を伝え、どう地域活性化に繋げていくかといった点について、より深化させることが望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治体主導であり民間事業者の巻き込みは不十分であるが、事業の実施を行うにあたっての財源・体制は一定程度確保されている。 ■ 自立自走・好循環をどのように生み出していくのかといった点について、民間事業者との連携の在り方も含めて、より深化させることが望まれる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本的な方向性・取組は明確で、地域課題を的確に捉えられているが、自立自走を見据えた今後の展開・深化については更なる検討が望まれる。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。 ■ 「宿泊者数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、2023年度の調査を実施していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産への協力団体数」「鞆のまちづくり基金の寄付額」及び「ガイド育成講座修了者の活動者数」について、目標を達成していない。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として目標を達成していない。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元住民と観光事業者が一体となる新協議会の設立、鞆のまちづくり基金の活用、近隣日本遺産地域との連携を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産の認知度が一定程度あるほか、行政計画における日本遺産の位置づけ、旧国民宿舎跡地の利活用に関する基本構想を策定するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産ガイドの養成やガイドによるワークショップを開催するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 福山市鞆町並み保存拠点施設の整備、多言語案内板の設置や、構成文化財における日本遺産サインの設置など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構成文化財を活用した商品開発やグリーンスローモビリティの活用など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産認定記念シンポジウムの開催、市内学校や地域団体と連携した出前講座の実施、鞆の浦学園と連携した学習カリキュラムの実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産ポータルサイトの閲覧数が一定程度あり、鞆の浦潜在力・嗜好性調査結果を活用した多言語での映像制作や、多様なチャンネルを活用した情報発信を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上位計画・関連計画に照らしてビジョンが作られ、現状分析・課題抽出のもとで取組が計画されている点が評価できる。 ■ 新協議会体制への移行に伴い、鞆の浦ならではのビジョンをさらに明確化することが望ましい。 ■ 拠点施設の利用や二次交通への課題への取組等がみられるが、整備以外の取組強化が望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間事業者や地元関係者が参画しており、一定程度の組織整備ができています。 ■ 今後は人材育成サイクルの確立に向けて取組方策のさらなる具体化が望まれる。 ■ 財源確保をはじめ、自走自立に向けた取組をさらに強化することが望まれる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域住民を巻き込みながら、まちづくりを核とした事業が計画されている。 ■ 現状の課題分析を踏まえて対応策のさらなる具体化を図り、計画の実効性を高めることが望ましい。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光客入込み数」について、目標を達成していない。 ■ 「外国人観光客数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」及び、「日本遺産・鬼会面を公開活用する寺院」について、目標を達成している。 ■ 「小中学生における日本遺産の認知度」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産への寄附額」及び、「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。 ■ 「日本遺産への協力者数」について、目標を達成していない。
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ 日本遺産連絡会議の定期的な開催や、プロジェクトチームによる事業推進等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 地域内での商品開発や戦略立案に係る各種調査事業が行われる等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ ガイドやコーディネーター人材の育成等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	■ 日本遺産の看板の設置、構成文化財などをモチーフにしたエンブレムの作成及び同デザインの看板の設置等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 日本遺産を体験できるロングトレイルやリトリートツーリズムのコンテンツ化等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 出前講座の参加人数や、市民の日本遺産の認知度が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ ウェブサイトのページビュー数は高い水準であり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	■ 全体として日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 過去6年間の綿密な評価が行われ、それに基づく新たなビジョンが設定されている。観光事業分野と普及啓発分野の強化の方向性と、そのための体制づくりが進められている点が評価できる。 ■ 現状は行政主体の段階のため、地域の自立自走にむけ、計画的に民間事業者の育成や一部機能のアウトソーシングを行うことが望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7つの評価項目ごとに、その達成度を自己評価しながら次の戦略・事業を構想する手法が評価できる。 ■ 庁内連携、ワーキンググループ、地域内での組織の細分化、地域プロデューサーなど組織整備がされている点が評価できる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 先進地域をモデルとしながら、常に事業チェックと自己評価をして事業を進める体制ができている点が評価できる。 ■ これまでの分析と課題に基づくビジョンの設定と、その実現に向けての具体策などが明瞭で、事業内容も具体性があることが評価できる。
<p>評価結果</p>	<p>重点支援地域に認定</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	不可	■ 「クラウドファンディングによる取組数又は金額」について、実施していない。
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成していない。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人パートナー数が一定程度あるほか、関係団体や地元企業等との連携体制を構築しているなど、組織整備に係る基礎的な取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関係機関との戦略会議や戦略立案に向けたアンケート調査の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光ボランティア育成ガイドブック等の作成などガイド育成事業や大学と連携した地域ゼミの開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産サイン構築事業や、構成文化財である記紀の道における地域住民と協同した風景づくりの取組など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西都原ガイダンスセンターへの入込客数が一定程度あるほか、自転車耐久レースやサイクリングツアーの開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ボランティア養成講座、高校生の課外授業や児童生徒向け現地学習ツアーの実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホームページやSNS等での情報発信、ポスターやリーフレットの作成・配布など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として基礎的な取組が行われており、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産を活用して実現したいビジョンをより具体的に記載することが望ましい。 ■ 通過型であることや認知度が低いことなどの課題が把握されているが、これらの課題を今後克服するための方策をより具体的に記載することが望ましい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ クラウドファンディング等を通じて財政基盤のさらなる充実を図ることが望ましい。 ■ 自立自走の実現に向けて、民間事業者との連携強化など、民間活力の活用の方向性について具体化を図ることが望ましい。 ■ 最も重要な役割を担っているのは地域住民であるため、地域を支え好循環を生み出すための計画を記載することが望ましい。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 古代人のモニュメントという優れた資源とストーリーをどのように継承し活かしていくのかという明確なビジョンや事業を示すことが望ましい。 ■ 2市2町に広がる古墳景観を体感してもらうために、自治体間の連携をどのように行うかをより具体的に示すことが望ましい。 ■ 重点的な取組は何か、それがビジョンの実現につながるかといった点について、より深化させることが望まれる。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

令和3年度「日本遺産(Japan Heritage)」候補地域 認定審査結果一覧

別紙4-1

分類	番号	都道府県名	申請者(◎印は代表自治体)	ストーリー名
点数評価 プロセス※	1	北海道	小樽市	北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽～「民の力」で創られ蘇った北の商都～
候補地域 継続	2	千葉県	◎富津市、鋸南町	天空の岩山が生んだ信仰と産業 ～房州石の山・名勝地鋸山は自然と歴史のミュージアム～
	3	京都府	京都市	おもてなし文化～受け継がれゆく京の花街～

※平成27年度条件付き認定地域との間で点数による評価が行われる。

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」、「外国人観光客数」及び「宿泊者数」について、概ね目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体数」について、目標を達成している。
(4) その他	可	■ 「ガイド人数」について、目標を達成している。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ 民間団体との協力体制の構築、ふるさと納税額の確保や組織整備のための研修事業やワークショップなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 日本遺産候補地域としての知名度が一定程度あり、構成文化財をはじめとする地域資源調査や、来訪者向けニーズ調査など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 有償ガイドの育成や鋸山ガイドセンターの設立など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	不可	■ サイン・案内看板の設置や、キャッシュレス決済の試験導入など、整備に向けた基礎的な取組が行われているものの、日本遺産ストーリーの体験につながる整備の更なる充実が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 民間事業者と連携した「鋸山ナイトツアー」や「鋸山と富津・鋸南の歴史を辿る特別クルーズ」の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 域内小中学校を対象とした「鋸山の教室」の開催や、域内事業者によるイベント開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ ガイドブックの作成、ホームページやSNSを活用した情報発信の取組など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	■ 全体として、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価内容
<p>① ストーリーの内容が、当該地域の際立った歴史的 特徴・特色を示すものであるとともに我が国の魅 力を十分に伝えるものとなっていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光資源は豊かではあるが、日本遺産ストーリーとして宗教と石切産業の関連性をより明確にすることが望まれる。
<p>② 日本遺産という資源を活かした地域づくりについ ての将来像（ビジョン）と、その実現に向けた日 本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に 示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の目指す将来像（ビジョン）のさらなる明確化が望まれる。 ■ これまでの事業分析や課題抽出を踏まえた日本遺産としての取組の具体化が望まれる。
<p>③ ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信 など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能 となる体制が整備されると見込まれること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間団体や事業者との連携が一定程度できているが、地域プロデューサーの確保・育成や、民間事業者との更なる連携強化が望まれる。 ■ 構成自治体間の連携をさらに強化することが望まれる。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産を活用して実現したいビジョンをより明確にしたうえで、構成文化財や地域の特色を生かした取組をさらに強化することが望まれる。 ■ 民間事業者や構成自治体間での連携を強化するとともに、地域プロデューサーの確保・育成に向けた取組の促進が望まれる。
<p>評価結果</p>	<p>候補地域として認定継続</p>

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光入込み客数について、目標を達成していない。 ■ 外国人観光客数について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の文化に誇りを感じる住民の割合について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産関連で開発された商品・サービス数について、目標を達成している。 ■ 日本遺産認定に向けた取組への協力者数について、目標を達成していない。
(4) その他	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 担い手の人数について、目標を達成していない。
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体としては概ね目標を達成している。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ おおきに財団友の会の会員募集や五花街共同の舞踊公演の実施等、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 新たに花街商品を開発する際に実施したマーケティング調査を基に販売を実施しており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	不可	■ 芸妓舞妓の人材育成の取組に留まっており、地域プロデューサーの育成等の取組が行われておらず、人材育成に必要な取組が実施できていない。
(4) 整備	個別評価	可	■ 歌舞練場等の受入環境整備を行うことで、各花街が実施する舞踊公演の入場者数が一定あることから、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 北野天満宮でのスタンプラリー実施やインバウンド向けの非公開文化財特別体験等の実施も含め、新規旅行プランを利用した観光客が一定おり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	不可	■ 修学旅行生向けのマンガやマップ制作・体験学習に加え、親子向けの花街文化を学ぶ教室等を実施しているが、体験した生徒数や開催したイベント数の全容を掴めていない状況であり、加えて地域住民に向けた取組も限定的なことから、普及啓発に必要な取組が実施できていない。
(7) 情報編集・発信	個別評価	不可	■ 五花街のホームページの多言語化やチケット販売等を実施しているが、ネイティブにとって分からない英語表記になっている等、情報編集・発信に必要な取組が実施できていない。
総合評価		可	■ 全体として日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

	評価理由
<p>① ストーリーの内容が、当該地域の際立った歴史的 特徴・特色を示すものであるとともに我が国の魅 力を十分に伝えるものとなっていること</p>	<p>■ 記載されているストーリーは花街の説明に終始しており、京都の現状を紹介している感じが強く、日本遺産に認定する意義を感じづらい。また「おもてなし文化」という用語が花街の歴史・文化をきちんと反映しているか疑問が存在する。例えば厳しい時代に女性が自立して生きていた誇り等をサブストーリーで触れる等、より外部の方に伝わり、かつ日本遺産として意義がある内容を検討することが望まれる。</p>
<p>② 日本遺産という資源を活かした地域づくりについ ての将来像（ビジョン）と、その実現に向けた日 本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に 示されていること</p>	<p>■ 花街の振興策についてのビジョンが明示的である点は評価できる。一方で、活用計画・事業が花街に特化されているように見受けられるため、地域全体が活性化することを目指したビジョン、取組内容を実施することが望ましい。</p>
<p>③ ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信 など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能 となる体制が整備されると見込まれること</p>	<p>■ 事業の推進体制が従来の体制を踏襲し花街と関係者に限定されているように見受けられるため、一般の民間企業の参入を促し、自走・好循環を生み出し、今後の活動の発展が期待できる体制を構築することが望ましい。</p>
<p>総合評価</p>	<p>■ 花街の振興のみを考えた計画となっており日本遺産としての活動が検討されていないため、花街を核としながらも地域全体の展開を踏まえた計画・組織を作ることが望ましい。</p>
<p>評価結果</p>	<p>候補地域として認定継続</p>